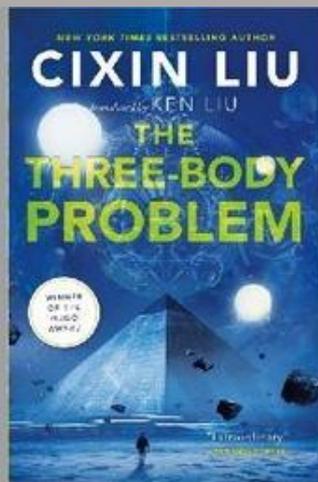
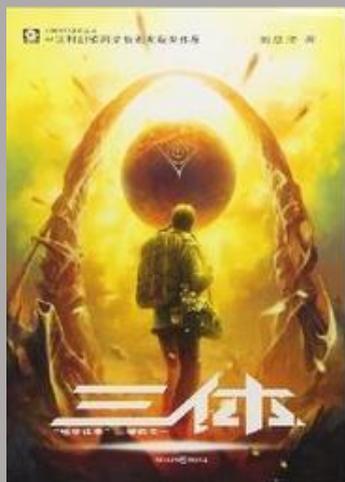


# AAALA (アジア系アメリカ文学会) 第 159 回例会

特別企画 (共催: 中国文芸研究会): ミニ・シンポジウム

「劉慈欣『三体』をトランスボーダー文学として読み直す」



2025

7.20

日 13:00

陽 |

日 16:00

オンライン  
(Zoom)

『三体』とアジア的思弁小説の伝統

特別パネリスト: 巽孝之 氏 (慶應義塾大学名誉教授、SF 批評)

『三体』における死の位相と悲壮美の成立——愚かさ・愛・倫理の表象と文化的受容

上原かおり 氏 (フェリス学院大学、中国 SF 研究、『三体II』日本語版共訳者)

「人類を超えて——『三体』におけるポストヒューマンの未来像」

楊靈琳 氏 (岡山理科大学、中国 SF 研究)

『三体』と (アジア系) アメリカ文学

山本秀行 (司会兼: 神戸大学、AAALA 会長)

※非会員の方の参加も歓迎します。奮ってご参加ください。

<参加方法>

2025年7月13日までに以下のリンクまたはQRコードで  
事前登録してください。

<https://forms.gle/3Y65gZJt7E8kVtNY7>

<問い合わせ先>

アジア系アメリカ文学会事務局  
aala.jp.office@gmail.com



※科研費・基盤研究 (B): 「アジア系トランスボーダー文学」の包括的研究枠組創成と世界的研究ネットワーク構築  
(代表者: 山本秀行、研究課題番号: 23K25310) の助成を受けています。